

危機管理型水位計 寒冷地対応



洪水時 IoTクラウドサーバーへ水位データを送信

自律型水位観測装置

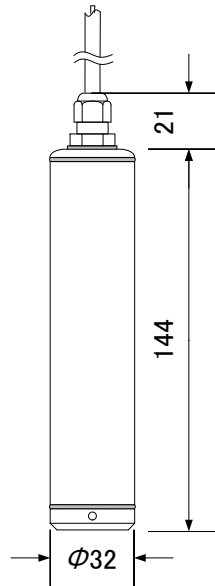
- 革新的河川技術プロジェクトにおける危機管理型水位計（寒冷地対応）の現場実証に参加しモニター試験実施中
- センサーが凍結しても破損しない小型水晶式水位センサT-P450を採用
- 高精度 0.1%FS、分解能 1 mm
- 設定した危険水位で自動的に観測モードに移行
- 観測モードは最短1分間隔で測定、データ送信の設定が可能
- 小型のソーラシステムで5年間電源メンテナンスフリー
- 無日照でも監視モード時60日以上、観測モード時9日以上稼動する低消費電力
- SDカードに水位値、電源電圧値を記録

水位計測部仕様		
水位測定方法	水圧式（水晶振動方式）	
水位測定範囲	0～10mH ² O（100KPa）	
出力形式	RS232C（水位、温度）	
測定精度	±0.1%FS	
耐凍性	使用温度範囲-10～+60℃、センサ部が凍結しても破損しない	
誘導雷対策	ダイオードアレイを内蔵	
感部寸法/重量	φ32×H144（mm）／500g	
材質	感部：SUS316L	
ケーブル	ポリウレタン4芯（大気解放パイプ°内蔵）φ5.6mm、ケーブル長30m	
計測制御部仕様		
測定要素	3要素	水位、電圧(外部電源電圧)、温度※1、
分解能	水位	1mm
	電圧	0.1V
	温度※1	0.1℃
水位平均化機能	サンプリング	1秒
	平均時間	5、10、15、20、25、30秒間から任意選択
水位オフセット機能	±900.000m	
監視モード機能※2	大河川	10分
	中小河川	5分
	急激な水位変化	2分
観測モード機能	閾値を越えると監視インターバル毎に測定データを送信	
死活監視機能※3	1日1回測定データを送信	
データ伝送方法	LTE Cat-1 閉域回線網対応	
通信プロトコル	TCP/IP	
データ形式	危機管理型水位計共同運用Platform対応	
記録機能	SDカード（32Gバイト）	
記録形式	CSVファイル（水位値、温度値※1、電圧値を記録）	
時刻補正機能	通信基地局の時刻情報より補正	
誘導雷対策	センサ避雷器付	
使用温度範囲	-25～+80℃	
電源部仕様		
電池容量	12V12Ah	
ソーラパネル容量	12W	
無日照保障日数	9日以上（観測モード時）	
外形仕様		
外形寸法	W300×H400×D160（mm）（突起部含まず）	
重量	約6kg	
防水規格	IP65	

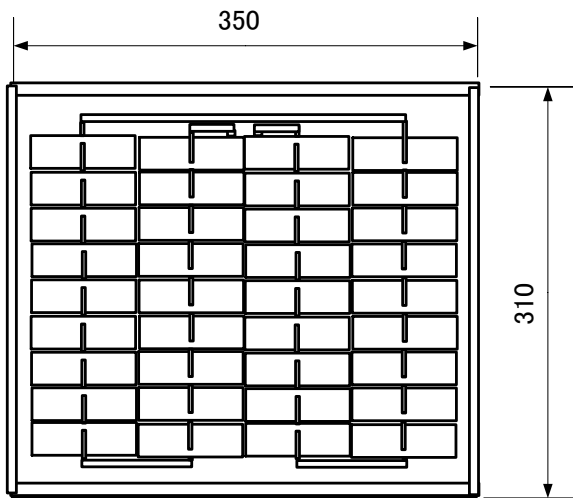
※1 温度値はSDカードにだけ記録 ※2 測定インターバルで設定 ※3 送信インターバルを24時に設定



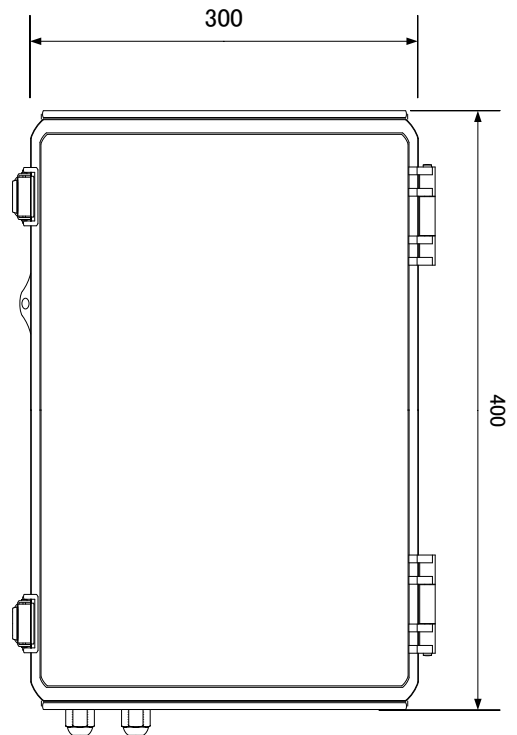
■ 水位センサー寸法図



■ ソーラパネル寸法図



■ 機器収納箱寸法図



■ お問い合わせ先

タマヤ計測システム株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-3-7

TEL03-5764-5561 Fax03-5764-5565